

第2次大垣市読書活動推進計画

(案)

目 次

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画策定の方法	3
4 計画の期間	3

第2章 現状と課題

1 読書活動推進の取り組み状況	4
2 指標のまとめ	30
3 「アクションプラン100」の取り組み状況	31

第3章 基本方針

1 基本理念	35
2 基本目標	35
3 基本施策	36
4 施策体系図	37

第4章 基本施策

1 サービス拠点の整備・充実	38
2 図書館資料の充実	40
3 図書館サービスの充実	42
4 「文教のまち大垣」の継承	46
5 子どもの読書活動の推進	48
6 アクションプラン（読書活動推進事業一覧）	51

第5章 計画の推進

1 推進方法	53
2 推進体制	53
3 進行管理	53
4 計画の見直し	53
5 指標と目標	54

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、平成22年3月、「大垣市第五次総合計画（平成20年3月策定）」を上位計画とし、「大垣の地域性、独自性をもたせながら、今後10年先を見通した大垣市の教育の在り方と、教育行政を進めるための『道しるべ（指針）』」として、「ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣」を教育のめざす姿とする「大垣市教育振興基本方針（期間：平成22年度～31年度）」を策定しました。

この方針に基づき、平成23年3月、教育各分野の振興計画の一つとして、「暮らしに役立つ市民の図書館」をめざした図書館の基本的な整備方針や施策と、子どもの読書活動を推進するための施策をあわせて「大垣市読書活動推進計画（以下「第1次計画」という。）（期間：平成22年度～26年度）」を策定しました。

計画の期間中、インターネットが家庭や学校、事業所などに普及し、あわせてスマートフォンやタブレット端末、電子書籍が暮らしの中に浸透してきたことにより、市民の情報収集方法や他の人々とのつながり方、読書の在り方などが大きく変化しました。

こうした状況の中で、図書館の必要性や存在意義を問う意見が出されていますが、他方では、氾濫する情報の中から、正確な情報を図書館に求める声も高まっています。

また、平成23年3月11日の東日本大震災を契機として、「地域の絆」や「人と人とのつながり」の必要性を再認識する傾向が強くなっており、地域の文化やそれを伝承する地域資料の保存の重要性が増しています。

こうした中、郷土の歴史や文化を保存し、後世に伝承する機関としての図書館の役割が明確になってきました。各地の図書館で、所蔵する図書やその他の資料を電子化して保存、提供しようという動きがあります。

一方、豊かな人間性を育むための読み聞かせやブックスタートの広がり、学校図書館の活性化など、子どもの読書環境の整備が進んでいますが、その反面、高校生や大学生の読書離れが深刻になっているという状況もあります。

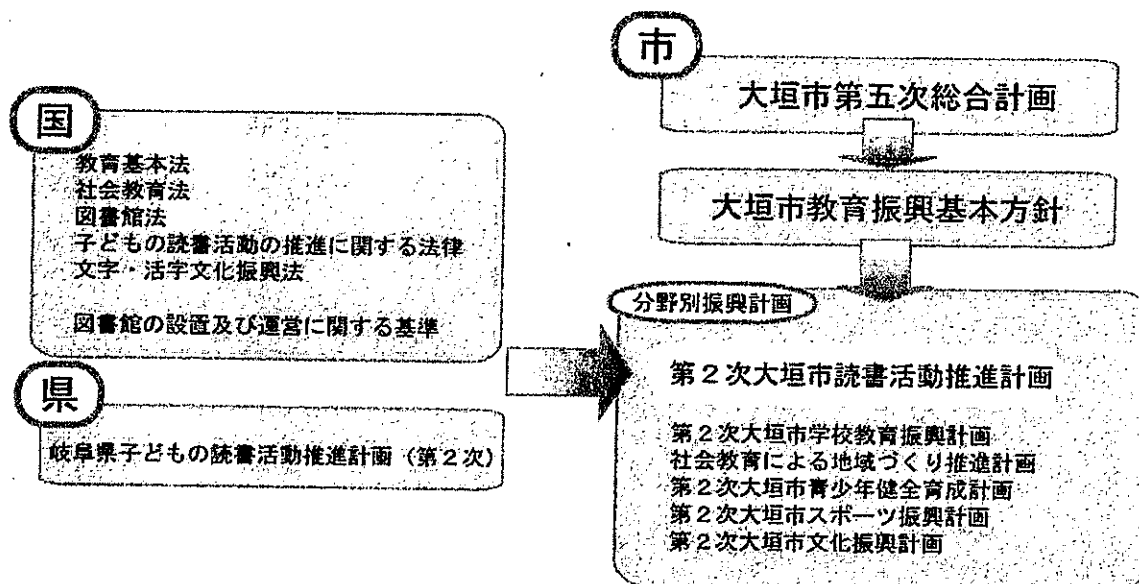
こうした読書や情報に関する環境の変化を踏まえ、今後、市民の読書活動を推進するにあたり、中心的役割を担う図書館の姿と、それを実現するための施策を具現化する「第2次大垣市読書活動推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

この計画は、「大垣市第五次総合計画」を上位計画とする「大垣市教育振興基本方針」の分野別振興計画の一つとして、他の計画と整合性を図りながら、本市の読書活動推進に関する方針と具体的施策を明らかにするものです。

国の法律や基準、岐阜県の計画に基づく計画とします。

〔読書活動推進計画の位置づけ〕



3 計画策定の方法

「図書館法」に基づき設置した大垣市図書館協議会において策定します。

策定に係る会議及び会議の記録を公開することにより、策定過程の透明性を確保するとともに、幅広い意見を得るために、パブリック・コメントを実施します。

4 計画の期間

第2次大垣市読書活動推進計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間とします。

「第2次計画」のデータ表について

本計画に掲載するデータ表は、断わりのない限り、図書館が毎年発行している「図書館要覧」または、図書館情報総合管理システムの統計機能により作成しています。

その他のデータは、「*」等で示し、出典を記載しています。

第2章 現状と課題

1 読書活動推進の取り組み状況

第1次計画は、市民の読書活動を推進するために、施設、資料、サービス、郷土資料、子どもの読書活動の5つの視点から基本目標を設定し、それぞれの目標を達成するために基本施策と施策を、また、達成度を測定するために指標を設定しました。

本章では、各基本施策の指標、実施状況から、本市の読書活動の課題を抽出します。

(1) サービス拠点の整備

[指標1]

基本施策1 サービス拠点の整備	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
市民の貸出し登録率(%)	45.6	45.5	49.3	48.8	50.0
図書館を利用する市民の割合(%)*	32.3	33.0	36.9	33.3	40.0

(※資料：大垣市の教育に関する市民アンケート調査)

用語解説「大垣市の教育に関するアンケート調査」

対象者数：500人

調査対象：市内に在住する満18歳以上の男女

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送返送による郵送調査

調査期間：対象年度の翌年4月15日～30日 平均回収率：48.0%

※平成25年度から「分からない」の選択肢を増やし、全体の母数から「分からない」を差し引き、割合を算出しています。

市民の貸出し登録率は、平成25年度末には48.8%で、およそ2人に1人が登録していますが、図書館を利用する市民の割合は33.3%で、およそ3人に1人です。

(1)-1 図書館サービス網の整備

子どもからお年寄り、障がい者、外国人市民が、気軽に図書館を利用するためには、身近なサービス拠点が必要です。

「図書館の利用に関するアンケート調査」で「これからの公共図書館に必要なサービス」について尋ねたところ、「身近な場所にあること」と答えた人が最も多く58.5%でした。

[表1 これからの公共図書館に必要なサービス（複数回答）]

	回答数	比率		回答数	比率
1 身近な場所にあること	107	58.5%	9 資料紹介、読書相談	16	8.7%
2 開館時間の延長	37	20.2%	10 様々な情報提供	21	11.5%
3 休館日を少なくする	36	19.7%	11 講座や展示会、イベント	15	8.2%
4 資料が豊富にあること	80	43.7%	12 職員の専門性	15	8.2%
5 専門的な資料があること	37	20.2%	13 IT、マルチメディアの活用	13	7.1%
6 資料検索がかんたんなこと	48	26.2%	14 遠隔地返却サービス	23	12.6%
7 10冊以上借りられること	30	16.4%	15 その他	9	4.9%
8 15日以上借りられること	34	18.6%	未回答	16	8.7%
			総 数	409	

(資料：平成26年度図書館の利用に関するアンケート調査)

用語解説「平成26年度図書館の利用に関するアンケート調査」

調査対象：図書館来館者

調査方法：自由記入、1人1回、無記名

調査期間：平成26年4月7日(月)～4月20日(日)

回収結果：183人(大垣117人 上石津33人 墨俣33人)

そこで、サービスセンターや地区センターなど、市民の身近な公共施設と連携協力して実施している地域文庫や予約図書配本サービスの充実に努めました。

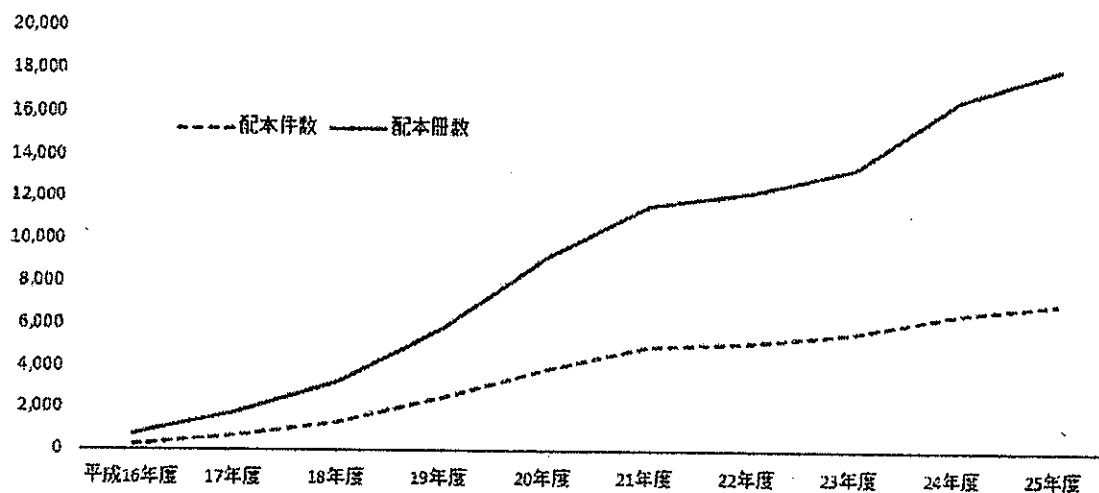
地域文庫については、新しい本の整備に努め、予約図書配本サービスについては、図書館のホームページで予約図書の配本場所を選択できるようにするなど、利用者の利便性の向上に努めました。

その結果、予約図書配本サービスの利用は年々増加し、平成25年度は、平成17年度と比べ、約10倍になりました。

第2章 現状と課題

[表2 予約図書配本サービス利用の推移]

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
配本件数	718	1,362	2,495	3,879	4,971	5,201	5,618	6,565	7,046
配本冊数	1,843	3,308	5,862	9,210	11,680	12,300	13,422	16,592	18,097



(1)-2 地域文庫の整備・充実

地域文庫は、サービスセンターや地区センターなどの公共施設に設置し、毎月1回、利用者の要望を取り入れながら、図書の入れ替えを行っています。

平成23年4月に、青墓地区センターの開館にあわせて地域文庫を設置したほか、北部公民館から中川地区センターへの改修にあわせて、子育て関連の資料を中心にした地域文庫の配本を開始しました。

平成24年11月には、青年の家に地域文庫を開設し、平成26年4月現在で市内25か所に地域文庫を設置しています。

〔表3 地域文庫配本状況 平成26年4月1日現在〕

施設	配本冊数	施設	配本冊数	施設	配本冊数
西部サービスセンター	336	赤坂東地区センター	492	大村公民館	268
南部サービスセンター	921	青墓地区センター	319	養老華園	115
中川地区センター	1,144	安井地区センター	260	まちづくり市民活動支援センター	298
興文地区センター	184	宇留生地区センター	211	子育て交流プラザ	119
西地区センター	495	荒崎地区センター	417	くすの木苑	147
南地区センター	712	日新地区センター	817	老人福祉センター	455
北地区センター	884	赤坂地区センター	827	青年の家	500
三城地区センター	947	綾里地区センター	263		
和合地区センター	208	川並地区センター	394		
合 計					11,733

(1)-3 ユニバーサルデザインによる施設の整備

誰もが、安心、安全、快適に図書館を利用していただけるよう、適宜、施設の改修等を実施しました。

〔表4 施設改修等一覧〕

年度	館	場所	改修等の内容
23	3館		赤ちゃんステーション(授乳室)設置
	大垣	1~4階	洋式トイレ設置
	大垣	1階・3階	多目的トイレ設置
24	大垣	1階・北階段	照明増設
	大垣	1階	シャンデリアランプ交換
	大垣	4階	AVライブラリー改修、パソコンデスク設置
25	大垣	1階	カーペット張り替え
26	大垣	1・2階	書棚配置変更
	大垣	2階	パソコンデスク移設

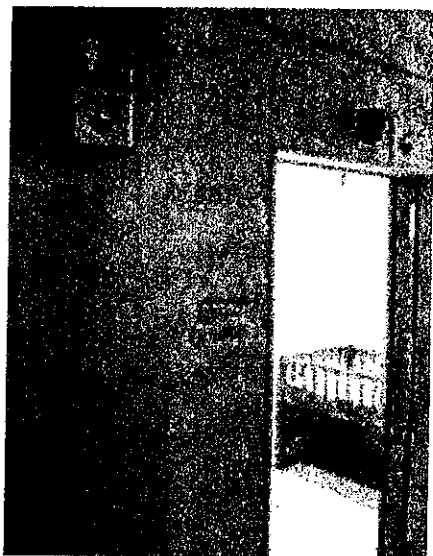
〔図1 施設の整備状況〕



シャンデリア（1階ロビー）



北階段



赤ちゃんステーション



多目的トイレ

用語解説「ユニバーサルデザイン」

ユニバーサルデザインは、高齢者や障がい者などの特定の人を対象としてバリア（障がい）をなくすバリアフリーの考え方を発展させるもので、あらかじめ、性別・年齢・身体的特性・国籍などの違いにかかわらず、多様な人のニーズを考慮する考え方です。

(1)-4 サービス拠点の整備、施設面での課題

より多くの市民が図書館を利用できるよう、身近なサービス拠点をきめ細かく設置することが必要です。

特に、学校や病院、各種の福祉施設など、目的や特色をもった市民の活動拠点となる施設に働きかけ、その性質や要望にあわせた地域文庫や予約図書配本サービスの配本所の設置を検討する必要があります。これによって、その施設や団体などの活動を、資料的に支援することができます。

また、既存の施設、設備についても、適宜、補修、改修して、市民が将来にわたって安心、安全、快適に利用できるよう整備することが必要です。

昭和49年4月に上石津中央公民館として開館した現在の上石津図書館は、経年劣化による雨漏りなど様々な面で改修、補修が必要です。

昭和55年1月に開館した市立図書館も、施設の整備、改修が必要です。

第2章 現状と課題

(2) 図書館資料の整備・充実

[指標2]

基本施策2 図書館資料の整備・充実	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
蔵書冊数(冊)	397,610	410,727	421,780	431,919	500,000
蔵書に対する満足度(%)**	90.3	92.8	91.8	91.9	95.0

(**資料：平成26年度図書館の利用に関するアンケート調査)

蔵書冊数は、年々増加し、平成26年3月31日現在で、431,919冊です。また、蔵書に対する満足度は、毎年90%を超える利用者が「満足」、または「やや満足」と答えています。

用語解説「蔵書冊数」

図書館が所蔵する図書の冊数。雑誌、視聴覚資料、古文書などを含みません。

(2)-1 魅力ある資料の整備・充実

市民の様々な情報ニーズに対応するため、幅広く、豊富な蔵書の整備に努めました。平成22年度を基準年とする平成25年度の増加率を館別にみると、墨俣図書館が15.6%と最も増加しており、次いで上石津図書館(13.4%)、大垣市立図書館(3.1%)となっています。

[表5 館別蔵書冊数の推移]

	平成22年度 (基準年)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増加冊数	増加率
大垣市立図書館	348,792	344,132	351,637	359,486	10,694	3.1%
上石津図書館	32,935	34,780	36,632	37,351	4,416	13.4%
墨俣図書館	30,353	31,815	33,511	35,082	4,729	15.6%
合 計	412,080	410,727	421,780	431,919	19,839	4.8%

資料区分別蔵書冊数は、郷土図書が最も増加率が高く14.3%、次いで児童図書の8.2%となっています。

これは、一般成人向けの図書は内容が古くなったものを除籍しているのに対し、郷土図書は除籍する性質のものではないこと、子どもの読書活動を推進するため、児童図書を特に積極的に整備したことによります。特に、上石津図書館、墨俣図書館は、親子が気軽に立ち寄れる図書館として、児童図書の蔵書に占める割合が高くなっています。

[表6 館別資料区分別蔵書冊数（平成26年3月31日現在）]

	大垣	上石津	墨俣	合計
一般図書	237,256	16,727	19,487	273,470
児童図書	83,477	19,812	15,190	118,479
参考図書	13,235			13,235
郷土資料	25,518	812	405	26,735
合 計	359,486	37,351	35,082	431,919
児童図書の割合	23.2%	53.0%	43.3%	27.4%

また、参考図書は、辞書・辞典類や統計書などを含み、これらの資料は経年による価値の低下が少ないとされているため、除籍対象にしていませんでした。しかし、近年は、古いデータを含む新しい資料を整備するとともに、インターネットを活用したレファレンスが増えたことにより、平成24年度に参考図書730冊を除籍しました。

[表7 資料区分別蔵書の推移（3館合計）]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増加冊数	増加率
一般図書	265,561	261,224	266,908	273,470	7,909	3.0%
児童図書	109,476	111,006	115,542	118,479	9,003	8.2%
参考図書	13,649	13,914	13,184	13,235	-414	-3.0%
郷土図書	23,394	24,583	26,146	26,735	3,341	14.3%
合 計	412,080	410,727	421,780	431,919	19,839	4.8%

用語解説「レファレンス」

図書館資料等を活用して、市民から寄せられる質問に答えるほか、市民自身の調査研究を支援するサービスです。

(2)-2 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

子どもの育ちに応じた資料を整備・充実するため、児童図書の整備に努めました。

特に、読書離れが指摘されている中高生の読書活動を支援するため、平成22年度にティーンズ図書コーナーを3館に設置し、人生について考える本や職業の本、ライトノベルズなどを整備しました。

〔表8 ティーンズ図書整備状況（平成26年3月31日現在）〕

	大垣	上石津	豊保	合計
ティーンズ図書	4,779	643	391	5,813

また、資料の紹介や活用を図るため、毎月、新着案内「ポケット」を作成し、図書館で配布するほか市内の園・学校などに送付しています。

さらに、赤ちゃんから育ちに応じた読書を進めるため、0歳児向け、10か月児向け、1歳6か月児向け、3歳児向けに分けて「おすすめ本」のリストを作成し、利用者にお持ちいただけるよう図書館に常備しています。

毎年「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」には、「読みつがれている本展」を開催し、年齢に応じた児童図書の展示とブックリストを作成し、児童図書の紹介に努めています。

(2)-3 高齢者向き資料の整備・充実

高齢者向けの資料として、人生を深める本、健康・医療関係の本などの整備・充実を図っています。特に、高齢者が読みやすい大活字本を積極的に整備しました。

また、平成26年5月には、健康・医療関係の本などを2階から1階へ移動するなど、利用しやすさにも配慮しました。

[表9 大活字本整備状況（平成26年3月31日現在）]

	大垣
大活字本	1,654

(2)-4 福祉資料の整備・充実

福祉資料については、平成23年度から、それまでの音訳テープに代えてDAISY（デイジー）の整備を開始しました。点字図書については、ボランティアサークルが点訳した人気作家による作品を数多く整備しました。

なお、点字図書と音訳テープについては、無料で郵送貸出しをしています。

[表10 福祉資料の整備状況（平成26年3月31日現在）]

	音訳テープ	DAISY	字幕ビデオ	点字図書	合計
福祉資料	439	18	769	1,096	2,322

用語解説 DAISY（デイジー）

視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために、文学作品や様々な情報を、国際基準に基づいて録音するシステムを指します。図書館ではCD-ROMを購入して貸し出しています。

(2)-5 多文化資料の整備・充実

外国人市民が読書を楽しみ、日本人市民が多文化に触れたり、外国語を学ぶための多文化資料（洋書）の整備に努めました。

ポルトガル語の絵本を購入したほか、外国人市民などから英語の図書を寄贈していただいて整備に努めました。

〔表11 多文化資料の整備状況（平成26年3月31日現在）〕

	一般図書	児童図書	合計
多文化資料	2,103	1,074	3,177

(2)-6 課題解決のための資料や情報の整備・充実

課題解決のための資料として郷土資料や参考図書を整備したほか、平成24年3月に、インターネットのホームページ上にレファレンスデータベースを構築しました。

レファレンスデータベースは、図書館に寄せられた質問の中から、特に有益と思われる事例や、興味、関心をひきそうな事例を登録しておくことにより、市民は、いつでもホームページにアクセスして情報を引き出すことができます。その事例に関連する参考資料も同じ画面から検索・予約することができます。

また、平成26年4月に、タブレット端末やスマートフォンに対応したホームページに更新して「情報をさがす」画面を新設し、図書館資料だけでなく、市民生活に有益な様々な情報を、すぐに入手できるよう努めました。

[図2 ホームページ「レファレンスデータベース」画面]

http://www.ocpl.org... D - 86 X 検索をさがす 利用サービス:レファレンス...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

レファレンス事例検索結果一覧

検索語:質問および回答内容=(大垣城)
件数:5件

検索語:(大垣城)
件数:5件

事例検索へ戻る

No.	質問内容	受付日	調査種別
1	大垣城で、卓上句碑を見ました。読み方などについて、教えてください。	2012/02/24	
表記:城の戸や涼うあいて雲の峯 谷木因 ヨミ:しろのとや すずし(ゆ)う あいて くものみね 「谷 木因(たに ぼくいん)」は、作者名です。 木因(1646~1725)は、大垣船町生まれ。 『大垣の先賢展-芭蕉没後300年記念』などで、「大垣俳人の先駆をなし、貞享・元禄頃の蕉風大垣俳壇の盛況を導いたのは、貞門・季吟門下の逸材、谷木因であった」と紹介されています。 木因は、京都の北村季吟の門下生でしたが、相弟子に松尾芭蕉があり、のちの数次にわたる芭蕉来垣や大垣俳壇の蕉風化の経緯に木因の指導や尽力があったとされています。			
2	大垣八幡神社の歴史を教えてください。	2012/02/25	
大垣八幡神社は、大垣市西外側町にある神社です。 例祭は、現在は、毎年5月15日の直前の土曜・日曜日に「大垣祭り」として行われています。 戦国時代に、兵火により消失しますが、大垣城主・戸田氏鉄が、正保4(1647年)に再建しました。この再建を祝って始まったのが大垣祭りと言われています。 詳しい歴史は、下記の参考資料をご覧ください。			

参考資料

『大垣市史 中』大垣市役所 1930 (分類)郷土215.3
 『大垣八幡神社史』和田唯男 大垣八幡神社 1979 (分類)郷土175.953
 『大垣市史 中』大垣市役所 1930 (分類)郷土215.3

[図3 ホームページ「情報をさがす」画面]

大垣市立図書館
Ogaki City Public Library

本をさがす

OCPL所蔵検索

OCPL新聞一覧
OCPL雑誌一覧

図書館に所蔵していない資料は検索対象になりません。図書館に直接お電話いただくか、ほかのサイトなどでお調べになった結果をEメールにコピー&ペーストするなどして、お知らせください。

予約・リクエストメールはこちら。
※利用カードの番号を必ず記入してください。

情報をさがす

大垣市について知る

大垣市役所のHP
大垣市の紹介
大垣市勢要覧2013

大垣市民の生活情報

生活の場面からさがす
電子版『広報おおき』
観光・イベントガイド

(2)-7 図書館資料に関する課題

「平成26年度図書館の利用に関するアンケート調査」で、「これからの公共図書館に必要なサービス」について尋ねたところ、「資料が豊富にあること」と答えた人の割合は43.7%でした（P.6 表1）。

しかし、県内の市立図書館や他地域の同規模人口都市の市立図書館（20市）と比較すると、本市の1人当たりの蔵書数や資料費は平均を下回り、結果として貸出し冊数は平均を下回っています。

[表12 人口1人当たりの蔵書冊数・資料費・貸出し冊数]

	平成23年度末 蔵書冊数	平成24年度予算 資料費(円)	平成23年度実績 貸出し冊数
大垣市	2.58	198.69	4.47
県内21市平均	3.54	235.15	5.32
同規模人口20市平均	3.29	233.01	5.84

（資料：「日本の図書館2013」日本図書館協会 2014年）

市立図書館の図書収容可能冊数は、約22万冊であるのに対し、平成25年度末の蔵書冊数は約36万冊で、収容率は約160%に達しています。

このような状態では、さがしている本を見つけにくかったり、新刊図書が古い蔵書に埋もれて魅力的な書架に見えなかったりします。古くなった蔵書も相当数、所蔵していますので、利用者の求めによって書庫から出してきても役に立たなかったというケースもあります。

市民に、新鮮で豊富な資料を提供して貸出しを伸ばすには、県内市や全国の同規模人口都市並みの資料費と、余裕のある収蔵スペースが必要です。

そのため、限られたスペースを有効に活用できるよう、価値や必要性が低くなった資料を除籍して、蔵書の新鮮度を高めるなどの工夫が必要です。

あわせて、近年、急速に進歩しているオンラインデータベースや電子書籍に留意する必要があります。

デジタル資料は、収蔵スペースを必要とせず、検索するにも、閲覧するにも便利で、かつ新鮮な情報を提供できますが、趣味の読書や絵

本の読み聞かせには不向きという意見があります。

そこで、電子媒体と紙媒体、それぞれの特性を生かし、市民にとって、より利便性が高く、有効な情報提供サービスの体制を構築することが課題です。

用語解説「オンラインデータベース」

インターネットなどを経由して、遠隔地から利用できるデータベースのことです。オンラインデータベースの利用者は、データベースの提供業者と利用契約を結び、IDやパスワードの発行を受けることで、自分のPCから、データベース上に蓄積された情報を検索・閲覧できます。

図書館では、朝日新聞記事、中日新聞記事、法律・判例情報、官報情報などのデータベースが利用できます。

(3) 図書館サービスの充実

[指標3]

基本施策3 図書館サービスの充実	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
年間個人貸出し冊数(冊)	679,516	709,706	708,865	713,568	750,000
図書館サービスに対する満足度(%)*	38.4	39.1	36.7	56.3	50.0
ボランティア活動参加者数(人)	1,554	1,385	1,467	1,553	2,000

(*資料：大垣市の教育に関するアンケート調査)

年間個人貸出し冊数は、平成25年度は713,568冊で基準値（平成22年度）を34,052冊上回りました。

市民の図書館サービスに対する満足度は、平成25年度は56.3%でした。また、読み聞かせや書架整理、資料修繕などのボランティア活動に参加した人は、平成25年度は1,553人でした。

(3)-1 図書館情報総合管理システムの整備・充実

平成24年3月に、図書館情報総合管理システムを更新し、市立図書館にセルフ貸出端末4台を設置して、利用者のプライバシー保護や、貸出しカウンターの混雑緩和に努めました。

また、市立図書館全館に無線LAN環境を整備したことにより、利用者は、自分のパソコンやタブレット端末、スマートフォンを使ってインターネットにアクセスしながら、本や雑誌を利用できるようになりました。

この環境を有効に活用できるよう、平成24年7月に、AVライブラリー（当時）を改修して、電源供給のできるパソコン専用デスクを設置しました。平成26年6月には、この専用デスクを一般閲覧室に移設し、図書閲覧と共用の学習・閲覧デスクとして利便性の向上を図りました。

用語解説「図書館情報総合管理システム」

貸出し・返却・資料検索・予約・統計処理など、図書館の根幹となる事務を

行うためのコンピュータシステムのことです。

用語解説「無線LAN環境」

無線機付のパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどが、ケーブルに接続しなくてもインターネットにアクセスできる環境のことです。

(3)-2 ユビキタス社会に適応した図書館サービスの推進

平成24年3月の図書館情報総合管理システムの更新時に、図書館のホームページも全面的に更新しました。

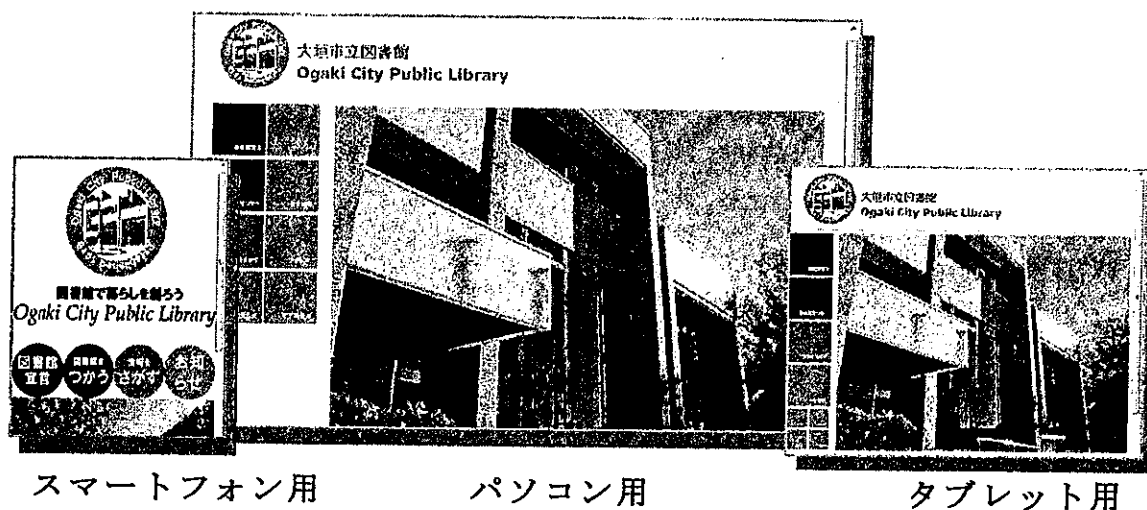
特に、検索結果の画面で、資料や作者に関する詳細な情報を提供したことにより、市民は必要とする資料を正確に選べるようになりました。また予約の画面では、資料の受け取り場所を選択できるようになりました。

あわせて、平成26年4月に、スマートフォン、タブレット端末対応のホームページに更新したことにより、市民は、いつでも、どこでも、手軽に図書館資料の検索・予約をはじめ、様々な情報の収集が可能になりました。

用語解説「ユビキタス」

インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、だれでも、どこからでもアクセスでき、またその機械やコンピュータ、通信技術などを使っていることを意識しないうちに、利用している状態のことです。

〔図3 アクセス端末による画面の遷移〕



(3)-3 資料を活用したサービスの充実

図書館資料を活用して、ふるさと古文書講座、市史入門講座（平成26年度以降は市史活用講座）、古典文学講座、現代文学講座などを開催し、多くの市民が参加しました。

〔表13 図書館資料を活用した講座などの参加者数の推移〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ふるさと古文書講座	663	656	790	727
市史入門講座	149	195	183	194
古典文学講座	301	327	367	265
現代文学講座	114	64	64	69
読書講演会	160	400	134	89

(3)-4 図書館ネットワークの整備

市民の様々な情報ニーズに対応するため、岐阜県図書館を中心としたネットワークを活用し、相互貸借サービスを提供しました。

岐阜県図書館を中心としたネットワークは、県内の公共図書館と一部の大学図書館、専門図書館が参加しています。

さらに、岐阜、愛知、三重、福井、富山、石川の県立図書館ネットワークにより、より広い範囲の図書館から、無料で資料の相互貸借が可能になっています。

[表14 相互貸借冊数の推移]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
借受冊数	1,463	1,323	1,351	1,292
貸出冊数	754	1,064	592	1,264

(3)-5 市民協働による図書館運営の推進

市民と協働して図書館運営を進めるため、平成23年6月に図書館協議会（委員7人）を設置し、会議を毎年3回開催しています。

図書館協議会では、事業計画や事業報告を諮問し、様々なご意見などをいただいて、サービスの向上に努めています。

また、図書館におけるボランティア活動として、ボランティアサークルによる読み聞かせ活動及び読書フェスティバル、読書フォーラムなどの開催支援、ボランティア登録制度による書棚整理や資料修繕、映像ボランティアによる「わくわく映像らんど」の運営、中学生による「スイトピア協力隊」などがあります。

平成25年度には、延べ1,553人が図書館でのボランティア活動に参加しました。

[表15 平成25年度ボランティア活動参加人数]

	読み聞かせ等	対面朗読	登録制度	映像	協力隊	合計
参加人数	582	24	560	46	341	1,553

(3)-6 図書館サービスの課題

年間個人貸出し冊数は増加傾向にあり、あわせて予約冊数も年々増加しています。

[表16 予約冊数]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
予約冊数	58,464	62,910	73,866	81,399
うちネット予約	26,505	30,039	38,418	45,602
ネット予約の割合	45.3%	47.7%	52.0%	56.0%

図書館を利用する市民は、およそ3人に1人であり、さらに多くの市民に利用していただくために、これまで図書館を利用していなかった市民には、図書館の魅力や有効性を積極的にPRし、図書館から遠方の市民や開館時間中の利用が困難な市民には、地域へ出張サービスによって図書館資料を身近に提供する工夫が必要です。

さらに、これまで図書館のホームページは、おもに検索・予約手段として利用されてきましたが、今後はレファレンスデータベースや様々な有益なサイトを分かりやすく紹介して、市民の情報源の一つとなるよう充実を図ります。

(4) 「文教のまち大垣」の継承

〔指標4〕

基本施策4「文教のまち大垣」の継承	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
郷土資料データベース化件数(件)	7,602	17,407	18,225	19,674	15,000

昭和43年度から、図書館が所蔵する古文書などの整理を開始し、毎年「郷土資料目録」を刊行しています。原資料は古くて傷んでいるものが多く、閲覧が困難なため、平成7年度から「郷土資料目録」順にマイクロフィルムの撮影を行っています。

さらに、平成20年度から、パソコンで検索、閲覧ができる「郷土資料データベース」の構築を開始し、平成25年度までに19,674点の資料をデータベース化しました。

(4)-1 郷土資料の収集と整備・充実

郷土資料は、大垣の歴史や文化、人物などを後世に伝える貴重な資料です。新しく出版される資料ばかりでなく、過去に作成、出版された資料についても、寄付採納や古書店などから購入して収集、整理に努めています。

〔表17 郷土資料整備状況 平成26年3月31日現在〕

	郷土図書	古文書	漢籍	和本	計
郷土資料	24,261	30,370	3,636	9,688	67,955

(4)-2 郷土資料目録システムの整備・充実

平成24年3月に、デジタル画像化した古地図、古写真、絵ハガキ、俳諧関連資料及び引き札などの美術的・歴史的価値の高い資料を、デジタルライブラリーとしてホームページで公開しました。

また、同年7月に、大垣市電子図書館を開設し、飯沼慾斎著「草木図説稿本」や「大垣市史」、「大垣青年会誌（麋城会誌）」及び明治から大正初期にかけて出版された貴重な図書などを電子書籍として提供しています。

(4)-3 郷土の歴史研究に関する課題

市史編纂事業が平成25年度で完了したことに伴い、平成26年4月に図書館内に歴史研究グループを設置して、郷土資料の収集と整理、それを基にした歴史研究及び郷土の歴史や文化を紹介する講座や歴史教育を積極的に推進するための体制を整備しました。

特に、市史編纂過程で収集された膨大な郷土資料を体系的に整理することは、地域の歴史研究に不可欠です。

また、地域の歴史研究は、図書館に所蔵する資料だけでは完結できません。

そこで、現在は、大垣城や郷土館、奥の細道むすびの地記念館など、図書館以外の施設に所蔵している収蔵品について統一的なルールで整理し、データベースを構築する必要があります。

さらに、今後新たに収集する資料についても、収集方針や管理基準を設ける必要があります。

(5) 子どもの読書活動の推進

〔指標5〕

基本施策5 子どもの読書活動の推進	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
子どもの読書環境に対する満足度(%)*	42.4	45.1	39.7	67.9	50.0
児童図書年間個人貸出し冊数(冊)	244,714	239,781	245,640	251,332	270,000
おはなし会等参加人数(人)	2,794	4,984	4,745	4,985	5,000

(*資料：大垣市の教育に関するアンケート調査)

子どもの読書環境に対する満足度は、平成25年度は、67.9%でした。
 児童図書の年間個人貸出し冊数は、平成25年度に25万冊を超えました。
 また、おはなし会などへの参加人数は、平成23年度以降、毎年4,500人を超える親子が参加しています。

(5)-1 図書館における読書活動の推進

図書館では、子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ることが目的として、お話の会『大きな樹』や大垣市読み聞かせネットワーク、及び読み聞かせボランティア養成講座の受講生など、ボランティアと協働して、おはなし会を開催しています。

また、読書の大切さを伝えることを主なねらいとして、子ども読書フェスティバルや地域読書フォーラムを開催したほか、家庭での読書活動を楽しく進められるよう、おすすめ本のリスト作成や読み聞かせの指導を行っています。

こうした中、平成16年度から開始したブックスタートは、平成25年度で10年目を迎えました。そこで、近年は、子どもたちが一人読みの能力を養うために、周りの大人たちがどのように指導したらよいのかをテーマにした講座を開催しています。

[表18 子どもの読書活動に関する講座など参加人数]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
おはなし会	1,601	1,619	1,498	1,687
おひざでだっこ	2,039	2,220	2,156	2,072
手づくり絵本講座	119	150	75	120
ボランティア養成講座	—	235	202	175
その他の講座等	107	141	316	209
読書フォーラム	283	110	312	303
子ども読書フェスティバル	1,081	532	420	50
上石津図書館事業	146	131	87	78
墨俣図書館事業	516	266	183	133

(5)-2 家庭における読書活動の推進

ブックスタートのフォローアップとして、図書館3館で毎週実施している乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」では、家庭での親子のふれあいを大切にしていただくため、読んだ絵本や、わらべうたの歌詞、手あそびの内容などを書いたプログラムを配布しています。

特に、市立図書館では、毎回、多くの親子が参加しており、平成24年4月から毎月第1土曜日にも開催して参加を促進しました。

乳幼児のためのおはなし会
「おひざでだっこ」



(5)-3 園・学校における読書活動の推進

図書館と保育園・幼保園・幼稚園・小学校・中学校の連携による子どもの読書活動推進事業として、図書館資料の一括貸出、園・学校からの図書館見学、職場体験を受け入れています。

また、平成24年2月から、大垣西高校を予約図書配本サービスのステーションに設置しました。現在、他の高等学校との連携を検討しています。

[表19 園・学校などへの一括貸出し冊数]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
園・学校・学校図書館	1,659	1,338	1,322	2,886
留守家庭児童教室	15,128	14,531	15,168	15,154

[表20 園・学校からの図書館見学受入れ件数・人数]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
見学件数	20	26	31	23
見学人数	978	1,301	1,211	1,098

(5)-4 地域における読書活動の推進

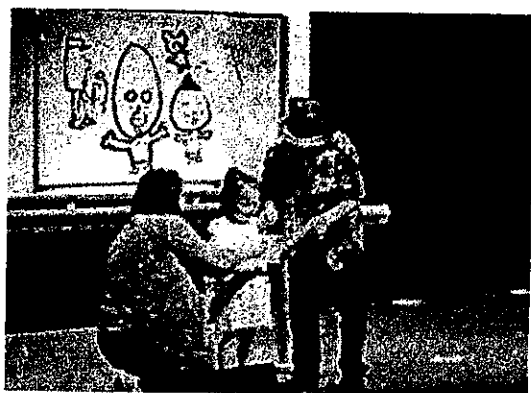
子どもたちが、地域の中でも読書活動を進められるよう、地域文庫に児童図書を積極的に配本しました。

また、地域における読み聞かせ活動を支援するために、地域読書フォーラムを開催するとともに、大型絵本や大型紙芝居を整備しました。

第2章 現状と課題

[表21 読書フォーラムの一覧]

開催日	場所	内容	講演 出演者	参加者数
平成22年10月10日	大垣市子育て 総合支援センター	幼児に読み聞かせが大切な理由(ワケ)	川上博幸	78
平成22年11月7日	西部研修センター	乳幼児から“ことば”体験の大切さ	川上博幸	47
平成22年12月4日	墨俣さくら会館	絵本で遊ぼう・パネルシアターで遊ぼう	神戸洋子	158
平成23年6月23日	中川ふれあいセンター	おはなしであそぶ	藤田浩子	110
平成24年6月17日	墨俣さくら会館	長谷川義史絵本ライブ	長谷川義史	312
平成25年6月16日	スイトピアセンター学習館	大垣で生まれた物語-キツネ山の夏休み-	富安陽子	98
平成25年11月13日	墨俣さくら会館	楽しもう! 絵本&おてて絵本	サトシン	170
平成26年3月23日	スイトピアセンター学習館	わたしの絵本づくり	ひろかわさえこ	50



絵本ライブ

講師/長谷川義史 (絵本作家)

(平成24年6月17日)



楽しもう! 絵本&おてて絵本

講師/サトシン (絵本作家)

(平成25年11月13日)

(5)-5 子どもの読書活動推進に関する課題

子どもが本を楽しみ、自らの読書活動を進めていく能力を養うためには、一人ひとりの育ちや興味に応じた資料的な支援と適切な読書指導が必要です。

そのため、乳幼児には家庭での読書を主眼として、主に親に読書への理解を深めてもらうことが必要です。

保育園、幼稚園、小学校低学年の子どもには、読み聞かせなどを通して本の世界への導きを、園や学校の先生とともに行うことが必要です。

小学校中学年以上の子どもには、学校図書館や公共図書館、地域文庫などの資料を活用して、一人読みをする能力を育むとともに、幅広いジャンルの資料を、身近に整備することが必要です。

そのため市立図書館は、子どもと周りの大人たちに、正しい理論と適切な資料提供を通して、一人ひとりの子どもの、すべての成長過程において読書活動を支援する役割を担っています。

そのため、親、先生、読み聞かせグループとの、一層緊密な連携が必要です。

第2章 現状と課題

2 指標のまとめ

基本施策1 サービス拠点の整備	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
市民の貸出し登録率(%)	45.6	45.5	49.3	48.8	50.0
図書館を利用する市民の割合(%)*	32.3	33.0	36.9	33.3	40.0
基本施策2 図書館資料の整備・充実	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
蔵書冊数(冊)	397,610	410,727	421,780	431,919	500,000
蔵書に対する満足度(%)**	90.3	92.8	91.8	91.9	95.0
基本施策3 図書館サービスの充実	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
年間個人貸出し冊数(冊)	679,516	709,706	708,865	713,568	750,000
図書館サービスに対する満足度(%)*	38.4	39.1	36.7	56.3	50.0
ボランティア活動参加者数(人)	1,554	1,385	1,467	1,553	2,000
基本施策4 「文教のまち大垣」の継承	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
郷土資料データベース化件数(件)	7,602	17,407	18,225	19,674	15,000
基本施策5 子どもの読書活動の推進	基準値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
子どもの読書環境に対する満足度(%)*	42.4	45.1	39.7	67.9	50.0
児童図書年間個人貸出し冊数(冊)	244,714	239,781	245,640	251,332	270,000
おはなし会等参加人数(人)	2,794	4,984	4,745	4,985	5,000

(* 資料：大垣市の教育に関するアンケート調査)

(**資料：図書館の利用に関するアンケート調査)

3 「アクションプラン100」の取り組み状況

第1次計画のアクションプラン100のうち、未実施事業は22事業でした。このうち、費用面、技術面などで事業の見直しが必要な9事業を除く13事業（太枠囲み）は、今後とも、取り組みます。

[アクションプラン100の実施状況のまとめ]

事業区分	実施	未実施	事業数
新規	20	22	42
拡充	9	0	9
継続	49	0	49

[アクションプラン100の実施状況]

（網掛けの事業は未実施、太枠囲みの事業は今後とも取り組む事業）

基本 施策	施策		事業 番号	事業名	事業 区分	実施 状況
1 サービス 拠点の 整備	1-1	図書館サービス網の整備	1	中央館建設計画の策定	新規	未
			2	地域サービス拠点の整備	新規	未
	1-2	地域文庫の整備・充実	3	地域文庫資料の整備・充実	拡充	実施
			4	地域文庫機能の充実	拡充	実施
			5	地域文庫での貸出返却サービス	新規	未
	1-3	ユニバーサルデザインによる施設の整備	6	耐震補強	新規	未
			7	トイレ改修(洋式トイレ)	新規	実施
			8	外壁補修	拡充	実施
			9	電動書架改修	新規	実施
			10	空調施設改修	継続	未
			11	多目的ルーム設置	新規	実施
			12	学習室パソコンコーナー設置	新規	実施
			13	ユニバーサルデザインによるサインシステム導入	新規	未

第2章 現状と課題

施策基本	施策	事業番号	事業名	事業区分	実施状況
2 図書館資料の整備・充実	2-1 魅力ある資料の整備・充実	14	蔵書整備計画(50万冊)策定	継続	未
		15	視聴覚資料の整備・充実	継続	実施
	2-2 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実	16	赤ちゃん絵本の充実	継続	実施
		17	中高生向き資料の充実	継続	実施
	2-3 高齢者向き資料の整備・充実	18	高齢者向き資料の充実	継続	実施
	2-4 福祉資料の整備・充実	19	点訳資料の充実	継続	実施
		20	障がい者用録音資料の充実	継続	実施
	2-5 多文化資料の整備・充実	21	多文化資料・情報の充実	継続	実施
	2-6 課題解決のための資料や情報の整備・充実	22	健康・医療関連資料の充実	継続	実施
		23	子育て資料の充実	継続	実施
		24	ビジネス支援資料の充実	継続	実施
		25	行政情報の充実	継続	実施
		26	地域生活情報の充実	継続	実施
	2-7 電子書籍の整備・充実	27	電子書籍の整備・充実	新規	実施
3 図書館サービスの充実	3-1 図書館情報総合管理システムの整備・充実	28	図書館管理システムの更新	新規	実施
		29	ICタグを活用した図書館管理システム導入計画策定	新規	未
		30	利用者用自動貸出機の設定	新規	実施
		31	自動音声応答システムの導入	新規	実施
	3-2 ユビキタス社会に適應した図書館サービスの推進	32	ホームページの更新	拡充	実施
		33	インターネット・メールカソンの発行	新規	未
	3-3 資料提供サービスの充実	34	レファレンスQ&Aの構築	新規	実施
		35	レフェラル(照会)サービスの充実	継続	実施
		36	予約サービスの充実	拡充	実施
		37	相互貸借サービスの充実	継続	実施
		38	予約図書配本サービスの充実	継続	実施
		39	中高生図書コーナーの設置	新規	実施
		40	高齢者サービスの充実	新規	実施
		41	福祉ボランティアの育成	新規	未
		42	点字リクエストサービスの提供	新規	未
		43	DAISYリクエストサービスの提供	新規	未
		44	アクトリーチサービス実施計画策定	新規	未

施策本	施策	事業番号	事業名	事業区分	実施状況
3 図書館サービスの充実	3-3 資料提供サービスの充実	45	多文化ボランティアの育成	新規	未
		46	外国人支援サービスの充実	新規	未
	3-4 資料を活用したサービスの充実	47	魅力ある展示会の開催	継続	実施
		48	講座・講演会の開催	継続	実施
		49	リサイクルフェアの開催	継続	実施
	3-5 図書館ネットワークの整備	50	図書館ネットワークの整備	継続	実施
	3-6 市民協働による図書館運営の推進	51	ボランティア登録制度の充実	継続	実施
		52	「図書館友の会」の設立	新規	未
		53	講座・講演会等、共催事業の開催	継続	実施
		54	図書館協議会の設置	新規	実施
4 「文教のまち大垣」の継承	4-1 郷土資料の収集と整備・充実	55	郷土資料の充実	継続	実施
		56	収蔵・管理システムの導入	新規	実施
	4-2 郷土資料目録システムの整備・充実	57	郷土資料目録データベースの整備	継続	実施
		58	郷土資料画像情報提供システムの整備	拡充	実施
		59	大垣藩人物データベースの構築	新規	未
		60	ふるさと映像デジタル化	新規	未
	4-3 郷土資料(逐次刊行物)デジタル化の推進	61	大垣青年会誌デジタル化	新規	実施
		62	郷土発行新聞デジタル化	新規	実施
5 子どもの読書活動の推進	5-1 図書館における読書活動の推進	63	市史編集資料データベース化	新規	実施
		64	児童図書整備計画(18万冊)	継続	実施
		65	赤ちゃん絵本の充実	継続	実施
		66	児童向き福祉資料の整備・充実	継続	実施
		67	外国人児童への支援資料の整備・充実	継続	実施
		68	中高生向きブックリスト・情報の発信	継続	実施
		69	市川里美コーナーの充実	新規	実施
		70	ブックスタート・おひざでだっこ指導員の研修	継続	実施
		71	読み聞かせネットワークの充実	継続	実施
		72	市民向き読み聞かせ講座の開催	継続	実施
		73	図書館職員による園・学校訪問	新規	未
		74	職場見学・職場体験・インターンシップの充実	継続	実施

第2章 現状と課題

施策 策本	施策	事業 番号	事業名	事業 区分	実施 状況
5 子どもの読書活動の推進	5-1 図書館における読書活動の推進	75	読み聞かせネットワーク研修会の開催	継続	実施
		76	土・日曜日のおはなし会の充実	継続	実施
		77	「子ども読書週間」事業の充実	継続	実施
		78	秋の「読書週間」事業の充実	継続	実施
		79	子ども読書フェスティバルの開催	継続	実施
		80	子ども向けHPの開設	新規	未
		81	子育て情報コーナーの整備・充実	継続	実施
		82	国・学校図書館への一括貸出しの充実	継続	実施
	5-2 家庭における読書活動の推進	83	ブックスタートの充実	継続	実施
		84	読み聞かせ指導員等のスキルアップ	継続	実施
		85	「おひざでだっこ」の充実	継続	実施
		86	ブックリストの作成・配布	継続	実施
		87	育児ババ「おひざでだっこ」の開催	新規	実施
	5-3 国・学校における読書活動の推進	88	朝読書、全校一斉読書の推進	継続	実施
		89	図書館まつり等読書推進活動の推進	継続	実施
		90	「学校図書館マニュアル」の作成	新規	実施
		91	「学校図書館利用案内」(児童生徒用)の作成	新規	未
		92	おすすめ本・必読書リストの作成	新規	未
		93	学校図書館HP開設	新規	未
		94	学校図書館ネットワークの推進	拡充	実施
		95	司書教諭等研修会の開催	継続	実施
	5-4 地域における読書活動の推進	96	学校司書部会の開催	継続	実施
		97	地域文庫用児童図書整備	拡充	実施
		98	地域おはなし会の開催	新規	実施
		99	地域読書フェスティバルの開催	拡充	実施
		100	予約ポスト等の設置	新規	未

第3章 基本方針

1 基本理念

暮らしと文化を創る読書活動

2 基本目標

(1) 市民の身近にサービス拠点を整備します

市民が、身近で、気軽に読書活動をすすめられるよう、地域の活動拠点にサービス拠点を整備します。

(2) 「地域の知の拠点」として豊富な資料を整備します

市民の様々な情報ニーズに対応する豊富な資料や情報を収集し、迅速に提供できるよう整備します。

(3) 「暮らしに役立つ図書館」として多様なサービスを提供します

資料や情報を必要とする市民一人ひとりのニーズに対応する様々なサービスを提供します。

(4) 「文教のまち大垣」を継承します

本市の貴重な郷土資料を収集、整理、保存、研究し、市民に紹介するほか、学習機会を提供して「文教のまち大垣」の歴史や文化を後世に継承します。

(5) 子どもの読書活動を推進します

子どもが自主的に読書活動を行って、豊かな心を育み、読解力や情報を収集し活用する能力を養うことができるよう、図書館、家庭、学校、地域が連携して読書環境を整備します。

3 基本施策

(1) サービス拠点の整備・充実

- 1-1 地域におけるサービス拠点の整備・充実
- 1-2 施設・設備の整備・充実

(2) 図書館資料の充実

- 2-1 魅力ある資料の整備・充実
- 2-2 デジタル資料・情報の充実

(3) 図書館サービスの充実

- 3-1 貸出しの充実
- 3-2 レファレンスの充実
- 3-3 利用者に対応したサービスの充実
- 3-4 市民と協働したサービスの充実
- 3-5 広報・PR活動の充実

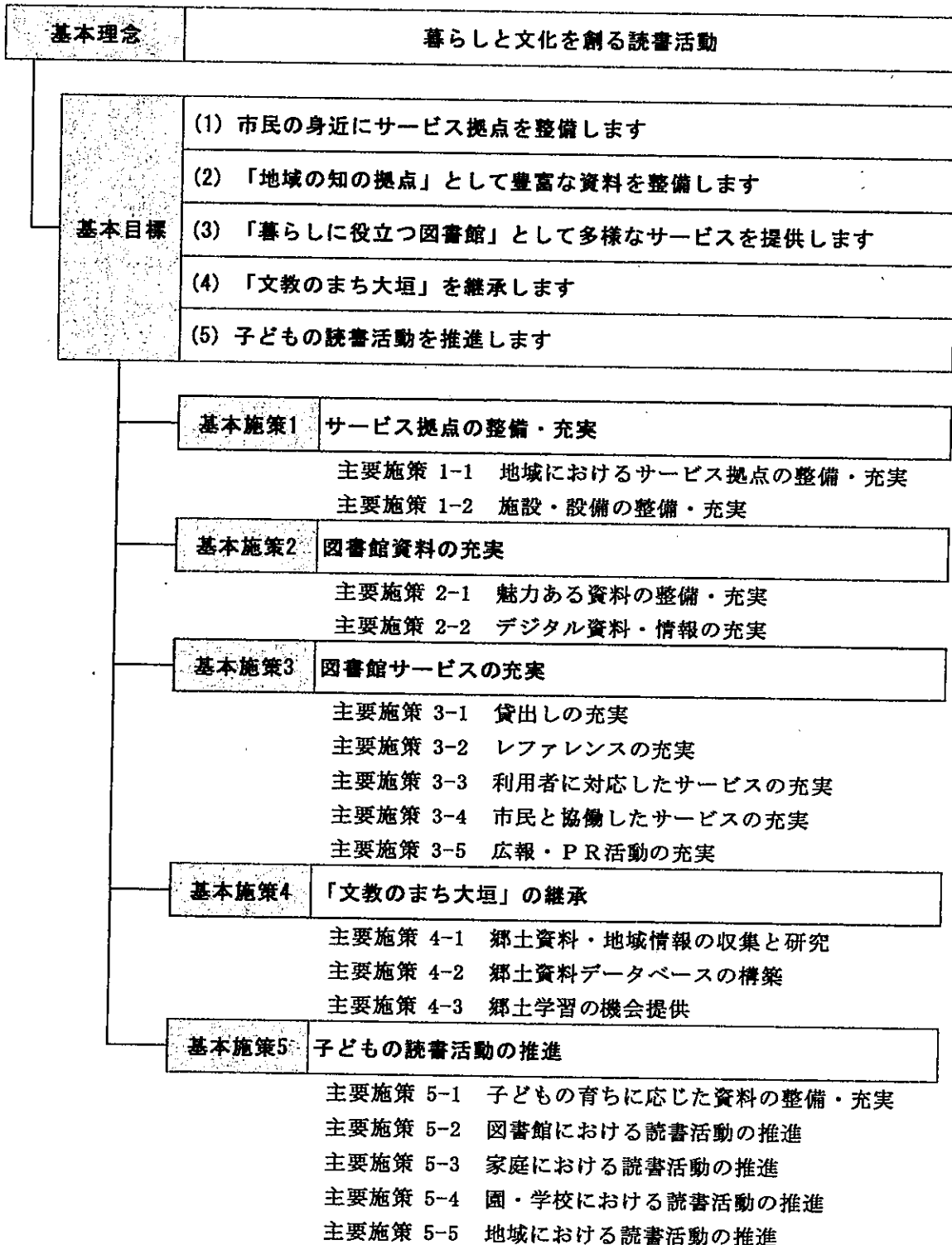
(4) 「文教のまち大垣」の継承

- 4-1 郷土資料・地域情報の収集と研究
- 4-2 郷土資料データベースの構築
- 4-3 郷土学習の機会提供

(5) 子どもの読書活動の推進

- 5-1 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実
- 5-2 図書館における読書活動の推進
- 5-3 家庭における読書活動の推進
- 5-4 園・学校における読書活動の推進
- 5-5 地域における読書活動の推進

4 施策体系図



第4章 基本施策

1 サービス拠点の整備・充実

市民の読書活動の中心拠点である公共図書館は、大垣市立図書館、上石津図書館、墨俣図書館の3館体制とし、その他の公共施設や地域の活動拠点にサービス拠点を設置して、図書館サービス網を整備します。

また、既存の図書館施設の整備・充実を図って、安心、安全、快適に利用できるよう努めます。

1-1 地域におけるサービス拠点の整備・充実

現在、地域文庫は、サービスセンターと地区センターの計18か所及びまちづくり市民活動支援センターや子育て交流プラザなど計7か所に設置しています。

今後は、福祉施設や病院等にも地域文庫を設置して、それぞれの施設等の要望にきめ細かく対応します。

予約図書配本サービスは、サービスセンターと地区センターの計18か所及び大垣西高等学校で実施しています。今後は、配本を希望する施設と連携を図り、配本所の増加に努めます。

[事業]

- (1) 地域文庫の整備・充実
- (2) 予約図書配本サービスの充実

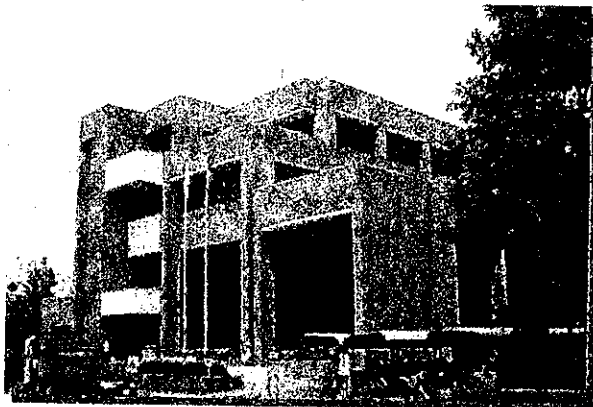
1-2 施設・設備の整備・充実

長年にわたり利用されている図書館は、本市のシンボルの一つです。今後も長く親しまれ、安心、安全、快適に利用できるよう施設や設備の整備、改修をします。

[事業]

- (3) 施設・設備の整備・充実

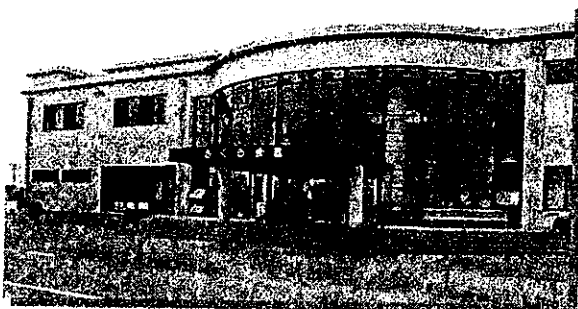
[図4 大垣市図書館3館の外観]



大垣市立図書館
昭和55年1月開館



上石津図書館
昭和49年4月上石津町中央
公民館として開館



墨俣図書館
(墨俣さくら会館2階)
平成6年11月開館

2 図書館資料の充実

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用します。利用目的も、余暇を楽しむため、知識や教養を深めるため、趣味や仕事のため、調査研究のためなど様々です。

一人ひとりの情報ニーズに対応するため、市民が必要とする資料、見たい、読みたいと思う資料を幅広い分野にわたって豊富に所蔵していることが求められます。

また、特に近年、利用者自身が、図書館内の利用者用端末や、自身のパソコン、スマートフォンなどからインターネットを利用して資料検索することが増えているため、資料に関する情報を分かりやすく整理し、誰もが、必要とする資料に確実にアクセスできるよう努めます。

2-1 魅力ある資料の整備・充実

魅力ある資料とは、第一に市民が必要とする資料、有益な資料、そして興味や関心をひく資料のことです。

特に本市の図書館は、市民の暮らしに根ざし、暮らしに役立ち、そして暮らしと文化を創造する「知の拠点」をめざしており、「暮らし」をキーワードに、実生活に役立つ情報、家族の暮らしを応援する情報、ビジネスに関する情報を重点とします。

次に、魅力ある資料の条件として、社会の変化が急速な今日においては、情報の新鮮さと分かりやすさがあげられます。

最新データの提供に努めるとともに、文章や章立ての分かりやすさや、図版や写真などがうまく使用されて、読者が理解しやすい内容であることに留意して資料を収集、整理します。

あわせて、本の表紙を見せる展示方法や、新着案内・ホームページを活用して資料紹介に努め、市民の知的好奇心を刺激し、本や知識との出会いの場づくりに努めます。

また、高齢者や障がい者、外国人市民にとっても、魅力的で使いやすい資料を収集、整理します。

[事業]

- (4) 生活情報の充実
- (5) 家族の暮らしを応援する資料の充実
- (6) ビジネス資料の充実
- (7) 福祉資料の充実
- (8) 多文化理解を深める資料の充実

用語解説「資料」と「情報」

第2次計画では「資料」と「情報」を、次のように使い分けています。

「資料」…情報とそれを収納する媒体（本や雑誌、新聞、CD、DVDなど）をあわせたもの。

「情報」…収納する媒体や手段を問わず、伝達される内容そのもの。

2-2 デジタル資料・情報の充実

現代社会において、市民は、本、雑誌、新聞などの紙媒体のほか、テレビ、ラジオ、インターネットなど様々なメディアから情報を入手しています。特に、インターネットは、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等の普及によって、市民の身近な情報手段になっています。

そこで、図書館も、デジタル資料の提供が可能なインターネットを積極的に活用して、即時性が高く、きめ細かい情報提供に努めます。具体的には、図書館のホームページのリンク情報やレファレンスデータベース、電子書籍の充実を図って、市民の情報源となるよう整備を推進します。

[事業]

- (9) ホームページにおけるデジタル情報の提供

3 図書館サービスの充実

図書館のもっとも基本的なサービスは、資料提供です。資料提供は、大きく分けて、貸出しとレファレンスによって行われます。

特に近年は、多様化する社会の状況を反映して、図書館に寄せられる市民の資料要求も多様化、細分化しているため、それらに的確に対応できるよう、きめ細かいサービス体制を整備して、貸出しとレファレンスの充実を図ります。

また、市民と協働して図書館サービスの充実に努めるとともに、図書館の魅力や有効性をPRして利用促進を図ります。

3-1 貸出しの充実

貸出しは、豊富な資料の中から、読みたい資料や必要とする資料を選択し、提供するサービスです。

新着案内や見やすい配架、資料の紹介展示などによって、利用者自身による資料選択を支援します。

あわせて、図書館職員による資料相談の充実を図り、効果的、合理的な貸出しサービスの提供に努めます。

また、求める資料が貸出中の場合や所蔵していない場合には、予約サービスによって確実に提供します。

[事業]

(10) 資料案内の充実

(11) 予約サービスの充実

3-2 レファレンスの充実

通常、市民は、資料案内や予約サービスを含む貸出しによって問題を解決しますが、求める情報がどの資料に書かれているか分からない場合や、その資料がどこにあるか分からない場合は、図書館職員に尋ねることによって、的確、かつ能率的に調査、研究を進めることができます。

そこで、レファレンスについて広く市民に紹介し、多くの質問を寄

せていただけるよう努めます。

現在、市立図書館3階に専用デスクを設けてレファレンスサービスを提供していますが、今後は、1階総合案内や児童閲覧室、2階一般閲覧室及び上石津図書館、墨俣図書館でも、積極的にレファレンスを受け付けます。そして、3館の全蔵書、とりわけ辞書・事典類や統計書、インターネットを最大限に活用して、必要とする情報を確実に提供する体制を整備します。

また、事例を記録して蓄積し、レファレンスデータベースとしてホームページで公開して、市民の利便性を高めるとともに、より専門的で高度なレファレンスに努めます。

[事業]

(12) レファレンスの充実

(13) レファレンスデータベースの充実

3-3 利用者に対応したサービスの充実

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が、様々な目的をもって利用します。また、障がい者や外国人市民、図書館から遠方の市民や開館時間中の利用が困難な市民もいます。

こうした多様な市民一人ひとりに対応するきめ細かいサービスの提供に努めます。とりわけ、読書離れが指摘されている青少年と、図書館を利用するために介助や支援が必要な高齢者、障がい者、外国人市民に留意し、それぞれに対応したサービスを提供します。

青少年には、ティーンズ図書コーナーの充実を図るほか、職場体験や図書館見学を通じて、図書館や読書の楽しさや有効性を知ってもらい、生涯を通じて読書に親しむ基礎づくりにつながるサービスを提供します。

高齢者には、対面朗読や、図書館の便利な利用方法、新しいサービス等に関する説明会の開催、及び利用の際の介助サービスを提供します。

視覚障がい者には、対面朗読や資料の郵送サービスを提供します。

外国人市民には、外国語の利用案内の作成や外国人市民の暮らしに

役立つ他機関等の紹介サービスを提供します。

[事業]

- (14) 青少年サービスの充実
- (15) 高齢者サービスの充実
- (16) 福祉サービスの充実
- (17) 多文化サービスの充実

3-4 市民と協働したサービスの充実

平成23年6月に図書館協議会を設置し、毎年数回の会議を開催しています。今後も、様々な点について諮問し、図書館サービスに反映します。

図書館ボランティアは、子どもへの読み聞かせや視覚障がい者への対面朗読、書棚の整理、資料の修繕などの活動をしています。より多くの市民が図書館ボランティアに参加できるよう、活動の機会を幅広く設けます。

[事業]

- (18) 図書館協議会の開催
- (19) 図書館におけるボランティア活動の機会提供

3-5 広報・PR活動の充実

毎月、図書館広報誌「図書館だより」、一般図書新着案内「本の泉」、児童図書新着案内「ポケット」を作成し、学校や園、地区センターなどに配布しています。

また、ホームページや「広報おおがき」を活用して、各種のイベントなどをお知らせしています。

今後は、図書館が所蔵する豊富な資料の魅力や、利用の有効性を重点にPRに努め、利用を促進します。

特に、図書館から遠方の市民や障がい者、開館時間中の利用が困難な市民には、地域文庫や予約図書配本サービスの周知を図ります。

また、学校や地域の活動拠点、市民団体等と連携を図り、資料や情

報要求の掘り起こしに努めるとともに、それぞれの活動に有益な資料の提供に努めます。

〔事業〕

(20) 広報誌・新着案内の充実

(21) ジャンル別・利用者層別ブックリストの作成

〔図5 現在の図書館広報誌〕

「大垣市図書館だより」



一般向き新着案内
「本の泉」



児童向き新着案内
「ポケット」



4 「文教のまち大垣」の継承

郷土資料は、地域の歴史や文化、人物等を後世に伝える大切な遺産ですが、時代の経過とともに散逸してしまう可能性があるため、積極的、継続的に収集する必要があります。

また、市民が郷土を理解し、郷土愛を育み、歴史や文化を次の世代に継承するため、郷土資料の収集、整理、研究及び紹介と学習機会の提供に努めます。

4-1 郷土資料・地域情報の収集と研究

郷土資料や地域情報は、図書や雑誌、新聞、古文書のように文字で表現された資料のほか、美術品や工芸品、考古資料のように立体的な博物資料、視聴覚資料、デジタル媒体の資料など、内容も、形態も様々です。

多様な郷土資料を、市民の共有財産とするため、郷土資料の収集方針や収集基準を策定し、計画的、積極的に郷土資料を収集、管理する体制を整備します。

郷土資料の情報を共有することによって、資料を収蔵する施設間の連携が深まり、複数施設の資料を活用した展示会の開催や学習機会の提供が可能になります。

収集した郷土資料については、体系的に整理、研究して資料集などを刊行し、資料紹介に努め、郷土学習に役立てます。

特に、子ども向きの郷土資料にも留意し、児童閲覧室（上石津図書館、墨俣図書館は児童図書コーナー）の郷土資料コーナーの充実を図ります。

〔事業〕

- (22) 郷土資料・地域情報の収集方針の策定
- (23) 市史「文書目録」の刊行
- (24) 資料集の刊行

4-2 郷土資料データベースの構築

現在は、図書館が刊行している「郷土資料目録」の掲載順にデータベースを構築していますが、今後は、市史編纂資料のほか、関連施設等が管理している収蔵品も対象にして、書写資料、古典籍、美術・工芸品等の形態ごとに項目を設定し、画像データ化してデータベースの構築ができる体制を整備します。

〔事業〕

- (25) 郷土資料データベースの整備
- (26) 市史編纂資料データ化の推進
- (27) 収蔵品データベース構築体制の整備

4-3 郷土学習の機会提供

収集した郷土資料を調査、研究した成果を広く市民に紹介して、市民がより深く郷土を理解し、親しみがもてるよう努めます。そのため、資料の紹介展示や講座などを積極的に開催します。

特に、子どもにも留意し、郷土資料を活用した調べ学習の支援や郷土資料の紹介に努めます。

〔事業〕

- (28) 資料紹介展の開催
- (29) ふるさと講座の開催

5 子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を推進します。

5-1 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

子どもは、一人ひとりの育ちに応じて、知識や興味の対象を広げていきます。そこで、子どもが読みたい、見たい、知りたいと思ったときには、いつでも、どこでも、読書ができるよう、図書館、家庭、園・学校、地域の子どもの活動拠点に児童図書を整備、充実します。

[事業]

(30) 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実

5-2 図書館における読書活動の推進

図書館は、子どもの育ちや学びに必要な児童図書等を、豊富に幅広く収集し、紹介し、提供するほか、子どもが本を好きになるよう、おはなし会を開催します。

また、図書館は、家庭や学校、地域での読書活動を支援するため、積極的に資料を提供します。

あわせて、子どもの読書に関する理解を深める取り組みや、読み聞かせボランティアの養成に努めます。

[事業]

(31) おはなし会の開催

(32) 子どもと本の講座の開催

5-3 家庭における読書活動の推進

家庭における読書活動を推進するため、子どもの育ちに対応する本を紹介するとともに、読書記録をつけることによって、楽しみながら読書を進められる読書手帳を作成し、普及に努めます。あわせて、子どものための読書案内の充実を図り、多くの本に親しめる環境を整備します。

また、絵本を仲立ちとして親子のふれあいを進める乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」の充実を図ります。

[事業]

- (33) 子どもの育ちに応じた読書手帳の普及
- (34) 子どもの読書案内の充実
- (35) 乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」の充実

5-4 園・学校における読書活動の推進

子どもの読書環境について、教師や学校司書、公共図書館職員が連携を図って情報交換する機会を設けます。

また、園や学校に働きかけて、子どもの図書館見学の促進、留守家庭児童教室への図書館資料の一括貸出しを充実します。

特に、高校生の読書活動を支援するため、高等学校の図書館と連携を図り、予約図書配本サービスを実施します。

[事業]

- (36) 図書館資料の一括貸出しの充実
- (37) 留守家庭児童教室との連携の充実
- (38) 司書教諭・学校司書との連携
- (39) 子どもの図書館見学の機会提供
- (40) 高校図書館への予約図書配本所設置

5-5 地域における読書活動の推進

子どもが身近な場所で本が読めるよう、サービスセンターや地区センター等に、豊富で幅広い内容の児童図書等を配本します。

あわせて、読み聞かせボランティアの養成を推進し、地域でのおはなし会を開催します。

[事業]

- (41) 地域文庫における児童図書の充実
- (42) 読み聞かせボランティアの養成
- (43) 地域おはなし会の開催

6 アクションプラン（読書活動推進事業一覧）

事業区分	事業数
新規	4
拡充	26
継続	13
合計	43

基本施策	主要施策	事業番号	事業	事業区分
1 サービス拠点の整備・充実	1-1 地域におけるサービス拠点の整備・充実	1	地域文庫の整備・充実	拡充
		2	予約図書配本所の整備	拡充
	1-2 施設・設備の整備・充実	3	施設・設備の整備・充実	拡充
2 図書館資料の充実	2-1 魅力ある資料の整備・充実	4	生活情報の充実	拡充
		5	家族の暮らしを応援する資料の充実	拡充
		6	ビジネス資料の充実	拡充
		7	福祉資料の充実	拡充
		8	多文化理解を深める資料の充実	拡充
	2-2 デジタル資料・情報の充実	9	ホームページにおけるデジタル情報の提供	拡充
3 図書館サービスの充実	3-1 貸出しの充実	10	資料案内の充実	拡充
		11	予約サービスの充実	拡充
	3-2 レファレンスの充実	12	レファレンスの充実	拡充
		13	レファレンスデータベースの充実	拡充
	3-3 利用者に対応したサービスの充実	14	青少年サービスの充実	拡充
		15	高齢者サービスの充実	拡充
		16	福祉サービスの充実	拡充
		17	多文化サービスの充実	拡充

第4章 基本施策

基本 施策	主要施策	事業 番号	事業	事業 区分
3 図書館サービスの 充実の	3-4 市民と協働したサービスの充実	18	図書館協議会の開催	継続
		19	図書館におけるボランティア活動の機会提供	拡充
	3-5 広報・PR活動の充実	20	広報誌・新着案内の充実	拡充
		21	ジャンル別・利用者層別ブックリストの作成	新規
4 「文教のまち大垣」の継承	4-1 郷土資料・地域情報の収集と研究	22	郷土資料・地域情報の収集方針の策定	新規
		23	市史「文書目録」の刊行	継続
		24	資料集の刊行	継続
	4-2 郷土資料データベースの構築	25	郷土資料データベースの整備	継続
		26	市史編纂資料データ化の推進	継続
		27	収蔵品データベースの構築	新規
	4-3 郷土学習の機会提供	28	資料紹介展の開催	継続
		29	ふるさと講座の開催	継続
5 子どもの読書活動の推進	5-1 子どもの育ちに応じた資料の整備・充実	30	子どもの育ちに応じた資料の整備・充実	継続
	5-2 図書館における読書活動の推進	31	おはなし会の開催	継続
		32	子どもと本の講座の開催	継続
	5-3 家庭における読書活動の推進	33	子どもの育ちに応じた読書手帳の普及	新規
		34	子どもの読書案内の充実	拡充
		35	乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」の充実	拡充
	5-4 図・学校における読書活動の推進	36	図書館資料の一括貸出しの充実	継続
		37	留守家庭児童教室との連携の充実	継続
		38	司書教諭・学校司書との連携	拡充
		39	子どもの図書館見学の機会提供	継続
		40	高校図書館への予約図書配本所設置	拡充
	5-5 地域における読書活動の推進	41	地域文庫における児童図書の充実	拡充
		42	読み聞かせボランティアの育成	拡充
		43	地域おはなし会の開催	拡充

第5章 計画の推進

1 推進方法

本計画を具体的・総合的に展開するためには、市民全体の理解と協力のもと推進していく必要があります。そのため、家庭、園・学校、地域等との連携を図り、計画を推進します。

2 推進体制

図書館と園・学校及び関係各課・機関等が連携して、計画を推進します。

3 進行管理

本計画に基づいて推進する基本施策の進行管理を行うにあたり、大垣市教育振興基本方針評価委員会、大垣市図書館協議会に進捗状況を報告し、評価を受けます。

4 計画の見直し

本計画は、平成27年度を初年度とし、平成31年度を目標年度としますが、計画の進捗状況や、社会経済情勢の変化などにより、必要に応じて見直しをするものとします。

5 指標と目標

基本施策	指標	基準値	目標値
		(H25)	(H31)
1 サービス拠点の整備・充実	市民の貸出し登録率(%)	48.8	50.0
	図書館を利用する市民の割合(%)*	33.3	38.0
2 図書館資料の充実	蔵書更新率(%)	4.55	5.00
	蔵書満足度(%)**	91.6	95.0
3 図書館サービスの充実	市民1人当たりの貸出し冊数(冊)	4.38	5.00
	レファレンス件数(件)	1,646	2,000
4 「文教のまち大垣」の継承	講座等参加人数(人)	921	1,000
5 子どもの読書活動の推進	子どもの読書環境に対する満足度(%)*	67.9	70.0
	児童図書貸出し冊数(冊)	251,332	270,000

(* 資料：大垣市の教育に関するアンケート調査)

(**資料：図書館の利用に関するアンケート調査)